



ピーターH. ガーランド様

式典に続いて、ボストン東スクール理事長のピーター H. ガーランド様によるアイルランド流乾杯のご発声で第二部祝賀会にうつりました。創立40周年を記念し制作された学園紹介ビデオを大スクリーン上に観ながら、立食パーティは和やかな歓談につつまれました。会の半ばには、ご来賓の文部科学省生涯学習局専修

学校振興室室長補佐の手塚健郎様にご祝辞をいただきました。また遠く青森からは一般公募で選ばれた40周年記念ロゴマークの作者工藤和久様もおいででしたので皆様にご紹介しました。

式典と祝賀会を通じて多くの皆様から心温まるお言葉を頂戴しました。閉会にあたり、横山常務理事より心からのお礼と今後ともかわらぬご支援をお願い申し上げ、40周年記念祝賀会は盛会裏に無事終了しました。



手塚 健郎 様



祝賀会のようす

May the road rise to meet you
May the wind be always at your back
May the sun shine warm upon your face
And rains fall softly on your fields
And until we meet again
May God hold you in the hollow of his hand

Peter H. Garland

(訳)
みんなで祈りましょう。
道は平らか、
風は追い風、
陽は燦燦、
雨は優しく地に注ぐ。
また会う日まで、
神のご加護に包まれて。

ピーター H. ガーランド
(アイルランド地方の祝いの祈り)

訳：寺田欣司

新校舎 北原記念館地鎮祭が行われる

来る11月16日(火)に北原記念館新築工事の地鎮祭が現地(武蔵野市緑町2丁目1番10号)で執り行われました。学園側からは、理事長をはじめとする各所属長と設計事務所や建設会社関係者参列のもと、工事の安全祈願を願っておこなわれました。



神官による祝詞奏上



寺田理事長による鍬入れ

新校舎「北原記念館」模型



平成18年1月竣工予定

「中学校新体育館」の基本設計が決まりました



平成18年1月竣工予定

東だより

特別号



武蔵野東学園広報

2004年(平成16年)12月10日発行

〒180-0013 東京都武蔵野市西久保3-25-3
TEL 0422-54-8611(代) FAX 0422-51-0267
http://www.musashino-higashi.org

学園40周年を迎えて“学園創立記念式典祝賀会(11月11日)”

40周年記念式典式辞

理事長 寺田 欣司

本日は当学園の四十周年記念式典ならびに祝賀会に、多数のご来賓のみなさまのご列席を賜り、まことにありがとうございます。教職員を代表して深く感謝申し上げます。

昭和39年11月11日、今から四十年前、北原勝平、キヨ夫妻は私財のほとんどを投じ、学校法人武蔵野東学園を創立いたしました。

以来、昭和40年4月10日に幼稚園を開園、昭和52年4月16日に小学校を開校、昭和58年4月7日に中学校を、そして昭和61年5月22日には技能高等専修学校を開校、さらに昭和62年9月11日にボストン東スクールを開校、今日児童生徒数1830人、教職員220名を抱える学園にまで成長しました。記録を見ますと、この五つの学校の開校日は、天の時に恵まれすべて快晴でした。

ご承知のように本学園は、自閉症の障害を持つ子供たちのための、独自の教育プログラムである「生活療法」と、自閉症児と健常児を同じキャンパスの中で教育する「混合教育」の二つを特徴としております。障害者を預かる施設となりますと、どうしても心の狭いかたがたの反対に会うことが多くなります。幸いにして本学園は、良識ある地域の皆様の暖かいご理解とご支援を得られました。当学園は地の利に恵まれました。

そして本学園は、何よりも人の和に恵まれました。小学校開設の際には、当時文部大臣をされていた奥野誠亮先生が、当学園の教育方針に深いご理解を示され、先生の獅子奮迅のご活躍を得て開校にこぎつけることができました。その間文部省、東京都などのご担当の皆様にも厚いご支援いただきました。

学校行事のたびに献身的なご支援をいただいている保護者の皆様がおられます。自閉症児の自立教育には健常児の存在が欠かせませんが、偏見の目で見られることもありがちな当学園に、「心の教育」を求め、混合教育の意義を理解され、わが子を預けられている、心の広い多くの保護者の皆様がおられます。ここに列席の皆様からの厚いご支援があって学園の今日があることは申すまでもありません。

加えて学園には、北原キヨが生前精魂込めて養成した、志高く教育への情熱に溢れた220人の教職員がおります。まさに学園は「天の時、地の利、人の和」そのすべてに恵まれているとあって過言ではございません。天国にいます北原勝平、キヨも学園の今日を見て、ことのほか喜んでいて存じます。

当学園は四十周年を節目として、新たな展開を目指しています。それは新校舎を建設し抜本的に施設を拡充するというものです。会場の入り口にその模型を展示いたしました。

この新校舎建設にはもう一つの狙いがあります。それは自閉症児の教育機会の拡充です。自閉児を抱え悩める保護者は全国に数多く、多くの保護者が当学園の門を叩かれますが、施設の限界から収容可能人員も限られ、心ならずも入学をお断りせざるを得ない状況が長年続いてきました。そうしたかたがたに少しでもお役に立つよう、新校舎の中に設置される教育センターを拡充し、サマースクール、スプリングスクールなどを開き、学園に通う自閉症児の課外授業の充実に加え、当学園に入学できない自閉症児の教育や、保護者研修の機会とするものです。来週には地鎮祭が執り行われる手はずでございます。

ご列席の皆様には引き続き、当学園活動に対し、温かいご理解と支援を賜りますようお願い申し上げます。式辞とさせていただきます。ありがとうございました。



ご来賓祝辞・祝電より

祝 辞

元文部大臣、(財)アジア福祉教育財団 理事長 奥野 誠亮 様

お祝いの言葉

創立40周年おめでとうございます。

先日、横山さんが私を訪ねて来られて、今日の式典に是非出席しろ、との仰せをいただきました。ところが私が創設に関わった財団法人の表彰式が、ほぼ同じ時間に上野で行われることになっていて、私が表彰状を手渡すことが既に決まっておりました。そのような事情でやむなく欠席させていただくことを申し訳なく残念に存じております。横山さんのお許しを得て、秘書にメッセージを託した次第です。



奥野 誠亮 様

私は昭和38年の11月に衆議院に初当選させていただいて以来、昨年10月に国会議員の職を辞するまで、40年間議員生活を送りました。従って武蔵野東学園の歩みと私の議員生活とは同じような年輪を刻んできたこととなります。それだけに本日の式典に対しては、関係者の皆さん同様の深い感慨を覚えております。

40年の間には様々な出来事、いろいろな人たちとの出会いがありました。その中でも北原勝平さん、キヨさんご夫妻との交わりは私にとって最も印象的な邂逅のひとつでした。

敗戦直後の苛烈な占領政策の結果、行き過ぎた個人主義が蔓延し、国家の名誉や家族の絆を顧みない国民が増えてしまったことに、私は危惧の念をいできておりました。日本人本来の姿は礼節を重んじる思いやりに満ちた国民性にその特性があったと思います。そのような考えから「取り戻したい日本人本来のこころ」というようなことを訴えながら政治活動をしてまいりました。

北原さんご夫妻の教育理念は、豊かな体験を子どもたちに与えながら「混合教育」を展開していくところに大きな特色があり、それはまさに私が心配していた戦後教育の欠陥を補うもののように感じられました。ちょうど武蔵野東学園が大きく発展される時期にも重なりましたので、ささやかな応援をさせていただいたりもいたしました。

私は教育で大事なものは、小さい時分には社会の基本的なルールや学問の基本をしっかり身につけさせる、そして意思が強固で心身ともに逞しい独立心に富んだ人材を育成し、思いやりのところに満ちた情操豊かな人間を育てることにあると思います。

武蔵野東学園の建学の精神もまさにそのことが原点にあるように感じるわけでございまして私が大きな共鳴を感じる所以であります。現在ではアメリカのボストンにも学舎を構えられ、国際的にも学園の理念が高く評価されていることは、日本人全体に対する見かたや信用に通じるわけで、とても喜ばしく感じております。

これからも寺田理事長さんを中心に、教職員の皆さん、ご父兄の方々が一体となって学園の運営にあたられ、更なる飛躍の中で、我が国教育界におけるフロントランナーの役割を果たしてゆかれまうようお祈り申し上げます。

代読 秘書 石崎 茂生 様



東京都議会議長 内田 茂 様
東京都議会議員 小美濃 安弘様

ご紹介をいただきました地元選出 東京都議会議員の小美濃 安弘でございます。

本日、ここに 武蔵野東学園創立40周年記念式典が挙行されるにあたり、本来であれば、内田都議会議長より、ご挨拶申し上げますところですが、所用により出席することが出来ないため、私より、都議会を代表いたしましてご挨拶申し上げます。

はじめに、寺田理事長をはじめ関係者の皆様に対し、学園創立40周年を心よりお祝い申し上げますとともに、この間本校の発展にご尽力されました教職員各位、後援会・同窓会の皆様方のご苦勞に対しまして、深



小美濃 安弘 様

く敬意を表する次第でございます。

本校は学園創立以来40年間、健常児だけでなく自閉症児を積極的に受け入れた「混合教育」を行い、健常児、自閉症児双方に大きな素晴らしい成果をもたらしました。

また、本校は、子どもたち一人ひとりの個性を大切に育みながら、今、日本に一番欠けているといわれる「心の教育」に焦点をあて、さまざまな教育プログラムを開発するなど、個性的で魅力ある教育活動を実践されておられるのも、皆様方の日々、甚大なご努力の賜物でございます。この場をお借りし、心から深甚なる敬意を表する次第でございます。

さて、近年、学校教育の担う役割は、益々重要なものとなってきております。学校教育は、人間性豊かな個性を伸ばし、望ましい目標に向って個人の可能性を最高度に発揮させ、平和な国家・社会の形成者の育成を目指すものでございます。

東京都においても、次世代を担う子どもたちに対し、親と大人が責任を持って、正義感や倫理観、思いやりの心を育み、人が生きていく上で必要な心得を伝えるため、「心の東京革命」に取り組み、都民と一体となった運動を展開しているところでございます。

どうか、本校の関係者各位におかれましても、本日の式典を契機に、次世代を担う子どもたちのため、より一層のご尽力あらんことをご期待申し上げます。

東京都議会といたしましても、今後とも、学校教育に携わる先生方と手を携えて、将来を担う子どもたちの訓育に向けその環境整備に全力を尽くしてまいり所存でございます。

結びに、晴れの式典に当たり、40周年の輝かしい歴史と伝統に立って、本校がこれからも、一層の発展を遂げられるよう、お祈りするとともに、ご列席の皆様方のご健勝を心からご祈願申し上げます、挨拶といたします。



祝 電

衆議院議員 厚生労働大臣政務官
森岡 正宏 様

武蔵野東学園がめでたく創立40周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

創立者である北原先生ご夫妻の「混合教育」や「生活療法」の花が咲いて実がなり、学園に学んだ優れた人材が社会に巣立ち、活躍されていることを大変うれしく思います。

小学校建設にご苦勞された北原先生やご父兄のお姿、そして中学校やボストン東スクールの開校式に出席させていただいた思い出がよぎってまいります。

せっかくご案内をいただいたのに、厚生労働省の公務と重なり出席できなくなったことを幾重にもお詫び申し上げます。

武蔵野東学園の益々のご発展とご臨席の皆様のご自愛、ご多幸をお祈り申し上げます。

東京私立初等学校協会
会長 平野 吉三 様

武蔵野東学園創立40周年を、心からお祝い申し上げます。

貴学園は昭和39年の創立以来、児童の個性の伸長、豊かな情操の発揮に努められ、「子どもは風の子、太陽の子」といわれたように心身共に健全な人材の育成を行われてきました。また、自閉児との共学制で児童がお互いに培いあい、それにより学園が活気づくという教育方針を実施され、歴代の理事長、校長先生をはじめ学園関係者の皆様のご協力に対し、心から敬意を表します。

記念式典の佳き日に新たな節目とし、貴学園の益々のご発展をお祈り申し上げます。



当日は晴天にも恵まれて、学園の創立40周年を記念した式典および祝賀会が武蔵野東小学校体育館にて挙行されました。各界より150名にのぼるご来賓の方々をはじめ、多くの関係の方々にはお忙しい中をご出席くださり、厚くお礼申し上げます。